第2四半期度のAV-TESTでG Dataが「合格認証」を獲得

G Data Software株式会社（本社：東京都千代田区、日本支社長：Jag
山本）は、第三者機関であるAV-
TEST.orgが四半期ごとに発表しているセキュリティソフトの総合評価テストにおいて、2011年第2四半期度も「合格認証」を獲得しました。

AV-TESTによる2011年第2四半期における製品性能テスト（OS:Windows XP
SP3、32bit)の結果、「G Dataインターネットセキュリティ
2012」は、保護、修復、利便性の三点からの総合評価により、「認証」を獲得しました。

AV-TESTによる評価は、「保護」「修復」「利便性」の三点から行われています。

「保護」は、マルウェア全般への防御能力を測定し、「修復」は感染したパソコンからマルウェアを除去し元の状態に戻す能力を測定し、「利便性」は、インストール後の動作速度、誤検出を測定します。これらの総合評価によりAV-TESTが「合格」判定を行います。

今回は、22製品がテストに参加した結果、G
Dataやシマンテック、カスペルスキーなど16製品が合格となり、ソースネクスト(K7)、マカフィーなど6製品が不合格となりました。

特にG
Dataは、「保護」性能を重視してまいりましたが、ワイルドリストによる10,224種のマルウェアに対する検知率と、AV-TESTによって収集された424,860種のマルウェアに対する検知率は、
2011年4月 、5月、6月いずれも「100%」を記録しました（＊）。

＊AV-
TESTの数値は、四捨五入されているので、100%というのは、実際には99.5%以上の検出率を意味します。

もし感染した場合、パソコンの「修復」にはとても手間がかかりますが、G
Data製品を使用している場合、他社とくらべて、圧倒的に優れた検知能力によって、パソコンが高い確率で保護されます。

また、「利便性」の一つの指標であるインストール後の動作速度についても、全製品平均の140秒よりも11秒速い、129秒という結果を出しました。

G
Dataは、「保護」機能はもちろん、「利便性」においても、これからも世界最高水準を維持し続けてまいります。

ジーデータソフトウェアとは
G Data
Softwareは、1985年に創業し、1987年に世界最初の個人向けウイルス対策ソフトを発売した、ドイツのセキュリティソフトウェア会社です。

EUを中心に、個人向け・法人向け製品を展開しています。日本法人は2007年に設立しました。最大の特徴は、ダブルエンジンによる世界最高位のウイルス検出率です。また、新種や未知ウイルスへの防御、フィッシング対策、迷惑メールへの外国語フィルターなど、インターネットやメール環境を安全・快適にする機能を豊富に搭載しています。その結果G Dataのセキュリティ製品群は、マルウェアやフィッシング詐欺サイトを常に高検出することに定評があり、過去5年間以上にわたって、第三者機関・雑誌における受賞獲得数は他社の追随を許しません。

＊本リリースに記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

【本リリースに関する問合せ先】
G Data Software株式会社
101-0042 東京都千代田区神田東松下町48 ヤマダビル6F
窓口： 瀧本往人
E-mail: gdata_japan_info@gdatasoftware.com
URL： http://www.gdata.co.jp/

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com